

2021年3月3日付けでカルタヘナ法に基づき承認した遺伝子組換え農作物(第一種使用規程)

作物名	名称及び承認取得者	第一種使用等の主な内容					パブリック コメント回答 掲載日	承認日	(参考)他の安全性 の確認状況	
		隔離ほ場 での試験 等	栽培	食用	飼料 用	観 賞 用			食品安全 性(食品 衛生法)	飼料安全 性(飼料 安全法)
セイヨウナタネ	除草剤グルホシネート耐性及び雄性不稔セイヨウナタネ (改変 <i>bar</i> , 改変 <i>barnase</i> , <i>barstar</i> , <i>Brassica napus</i> L.)(MS11, OECD UI:BCS-BN0-12-7)【BASFジャパン株式 会社】		○	○	○		2021年 3月3日 (回答は こちらから)	2021年3月3日	○	○
カラシナ	除草剤グルホシネート耐性及び稔性回復性カラシナ(改 変 <i>bar</i> , <i>barstar</i> , <i>Brassica juncea</i> (L.) Czern.) (RF3, OECD UI:ACS-BN003-6)【BASFジャパン株式会社】	○							—	—
ファレノプシス	青紫色ファレノプシス <i>CcF3'5'H</i> , <i>Phalaenopsis</i> Wedding Promenade) (311NR, OECD UI:ISK-311NR-4) 【石原産業株式会社】		○			○			—	—

注1: 名称の()内の「OECD UI」とは、OECD Unique Identifierのことであり、遺伝子組換え植物の安全性審査の単位としてOECDに登録されている識別記号のことです。

注2: 名称の()内の「OECD UI」の前に記述している英数字は、開発者による識別番号です。

注3: 第一種使用等の内容の「食用」、「飼料用」とは、食用又は飼料用のための「輸入及び流通」について認められたものです。

注4: 「(参考)他の安全性確認状況」の欄は、食品衛生法に基づく食品としての安全性審査の手続きを経た年、ないし、飼料安全法(飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律)に基づく飼料としての安全性の確認がなされた年を示すものです。「—」は未確認を示すものです。
ただし、非食用又は非飼料用については「不要」を意味します。なお、スタック系統については親系統で安全性を確認しております

参考1: 承認した遺伝子組換え農作物に係る第一種使用規程承認申請書、生物多様性影響評価書の概要、学識経験者の意見等については、バイオセーフティクリアリングハウス(J-BCH)のLMO関連情報(<https://www.biodic.go.jp/bch/>)から検索できます。

参考2: これまでに承認した遺伝子組換え農作物のリストについては、こちらからご覧下さい。
<http://www.maff.go.jp/j/syouan/nouan/carta/torikumi/index.html#1>